

伊勢物語

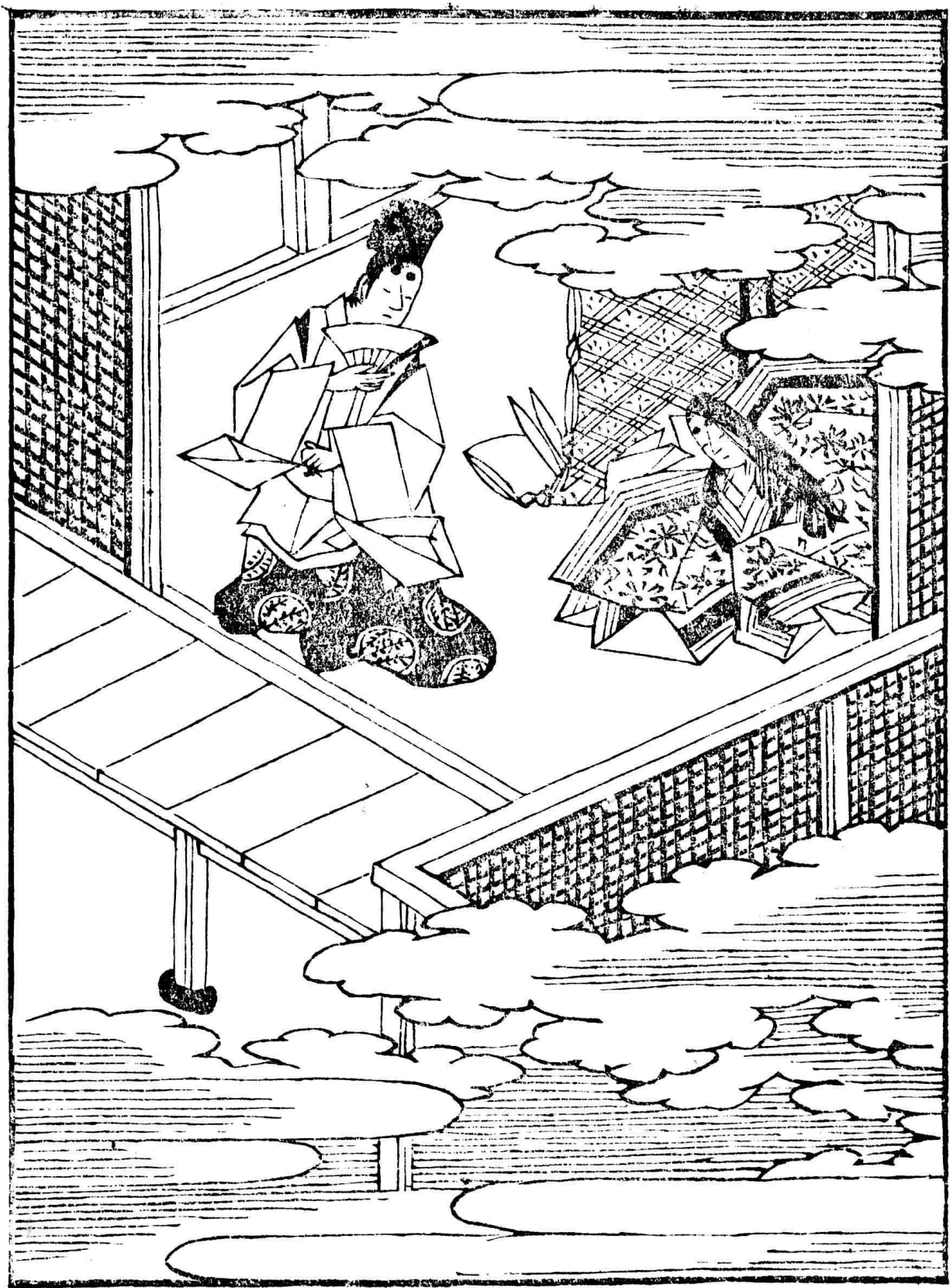
下

あーおやこいものこゑおー
なわらう主見えわて

うわうえぬうにえおるわう
人様せひりすまをーうあふ

あーおやこいものこゑおー

あーおやこいものこゑおー
うわうえぬうにえおるわう



ずー男ありたりうむ流人をううんそ
とわのこまを越つとまうきぬやも
にもハぬ人ぬおも乃かた
やいつわんふ

あきぬハまきえ乃うわてもありぬ
とわのこまを越つとま
ふ

ううぬさうハちうす
あふさ乃にかい人候うるを

み女

ゆき水小かひうくづわもはりなだハ
たもえぬ人をたもふなわたり

ほろねと

り水とさなるうひとちあえなと

海とさなるうひとちあえなと

あたへるうきりきりあおとこ女の

乃のあわき——はなはなはな



ずー男人のぢぢさつゝは菊うんふぢぢ
 じんじんハ何ななぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ



昔もさういふ人乃もさうわかさなわ
ちもさういふおつわらぬことなり
あやめかり君ハぬまようすのひる
まに野にさうさうさうさ
とさ——をなんやうな
さうなうたき女アあひてお
かちねとけつをにとわのなまじり
いそかばものなうん人——
さうさういふおつわらぬことなり

昔男は遊ぶゝわに女ありつひやわに
遊ばせやゝぬあちだたと女ももろにハ
あまはやふあつ遊ばせと人
あゝおとこがひにけゝ女のえう
あゝうなわてはより

思ふすそありもひゝめとこそその壺乃
あわやゝゝゝゝたれもあゝ那

さゝゝ男ふきそれもひおきそおもひく
あゝゝゝ

カヲ袖ハくらき乃いほわゝぢ〜ぬとめ
くらき露のやとわなわらわ

ぢ〜おきこ人〜逆ぬも乃おもひくらわ
伏神なまののりや

急わひぬあまたくらもふやとらてふ
我がく君をもくらたつはり那

昔〜物ほきてつゆらのえなほたそとふ
くをかきりよ取よいつくらわてをわらわ
う〜お世なわあわれ朝き〜すりしめ

かたぬともものぬなりなわたり神田くろん
とてこゝ男傑ある代えそいみー乃すたも
のゝ志見市やとてあけまわていりきり就
はこゝ男にけておくらかく神小くれハ女
あまよりわあられのく世の屋いあま
りえけん人乃をとけいもあめ
せつひてこみ宮ありけいあまなるあわ
る神ハあま

すくすおひてあまなるあまのう神なる

ありふもおす乃寸たくなわたり

とくなひいさわらぬらの女やもほ
ひつりんといひるわ

うちとひておちほはつふとあかあま
わさのたらしなゆきまゆを

さうおと京をいそ思ひるせはん
山うけむとおもひりて

いえわひぬいよあやちと山さへに
おをかくひくあやとあやうじ

みくも物いよくや見て志にりかりふる
そおもてよ水うゝた眼と志そいふ

わうう人に露をくあるあまは河

せわうる舟のうひ乃——流くる

となんひいていさそさわく

昔おとこありそあり言はみん

心もさめなうちわん旅わたのほくとう志

海ありたもえんといふ人ふつ

くたへいなるわこのたきこ字佐藤はかひ

にそつたふるすりあふふの——うう乃
官人乃めもてなせあふとまうてあふ
にううげとせよさうせいのあしとい
ひふふ六かりうげとわてい——たむら
ふさうあふらうふらふなをともわて

さ月もらあふらふふのかあふけを
さうのひと乃あふらうう

やうひあふらううなひひそとあふになあ
て山ありうわてうあふらう